



昭和 60 年、第一回折尾西町内の山笠がスタートして 4 半世紀が過ぎた年に、伝統ある折尾西山笠を継続して、新生折尾こども山笠が始まりました。

我が家では今年初参加の主人を含め家族 4 人で参加しました。主人は“疲れた、きつい”と言いながらも、山笠の楽しさを満喫していました。9 歳の長男は 3 歳からの参加。

今回で 6 年目、初めは途中の休憩で寝てしまい 0 歳の長女のベビーカーでゴールする始末…。そんな長男も今ではしっかりと山を引いて最後まで歩ける男の子に成長しました。太鼓も山笠に乗って叩きたい一心で練習し、鐘から小太鼓へ今年は大太鼓まで叩ける様になりました。6 歳の長女もまた兄のあとを追うように太鼓の練習に励んでいます。

この山笠のお陰で子供達もいろいろな人との繋がりを持てるようになったのではないのでしょうか…。私もまた支えて下さる年長者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

来年もまた“チンチンチンチン、カッカカッカカッカカ、ドド~ンドン”と、子供達の叩く太鼓の音色が折尾の町に響くことを楽しみにしています。

今年ご協力して頂いた皆さま方、大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

金子由起

2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会も終わり、大活躍で終わった日本代表選手も J リーグや海外リーグに戻って、次回のワールドカップに向けて歩き始めました。

さて、みなさんは今回のワールドカップはどのようにして観戦しましたか。家のテレビで応援した人、実際に南アフリカまで応援に行った人、パブリーックビューイングで応援した人、スポーツバーでお酒を飲みながら応援した人などさまざまだと思います。

私はというと、大学生でありながら折尾でスポーツバーを運営しながらお客さんと一緒に日本代表を応援していました。なぜ、大学生が折尾でスポーツバーを運営しているのかをお教えします。

私は以前から折尾がもったいないなと感じていました。なぜなら、こんなに大学生、高校生など若い学生がたくさんいるのに、若い学生向けのお店やイベントが少ないと思っていたからです。「もっと折尾が活性化してほしい」「盛り上げてほしい」と思っていたところに、スポーツバーの店舗を貸してくださったオーナーが学生の力でこの折尾を活性化してほしいということで、店舗を夜の間だけ貸していただくことになりました。そこで近くの九州共立大学には「スポーツ学部」があり、そして 2010 年は 4 年に一度のワールドカップの年ということでスポーツバーなら絶対盛り上がると思いました。

6 月 14 日の日本対カメルーン戦にオープンし、17 日の韓国対アルゼンチン戦、19 日の日本対オランダ戦、29 日の日本対パラグアイ戦に営業を行い、総勢 80 名の方に来店してもらいました。日本戦ではお店が満杯になり、お客さんと一体となって日本を応援し、日本代表の活躍で大変盛り上がることができました。

面白いイベントを行えば学生は集まるということの証明になったと私は考えています。

ワールドカップは終わりましたが、これからも日本代表の試合にスポーツバーを営業する予定なので、ぜひお越しください。

杉本和也

